

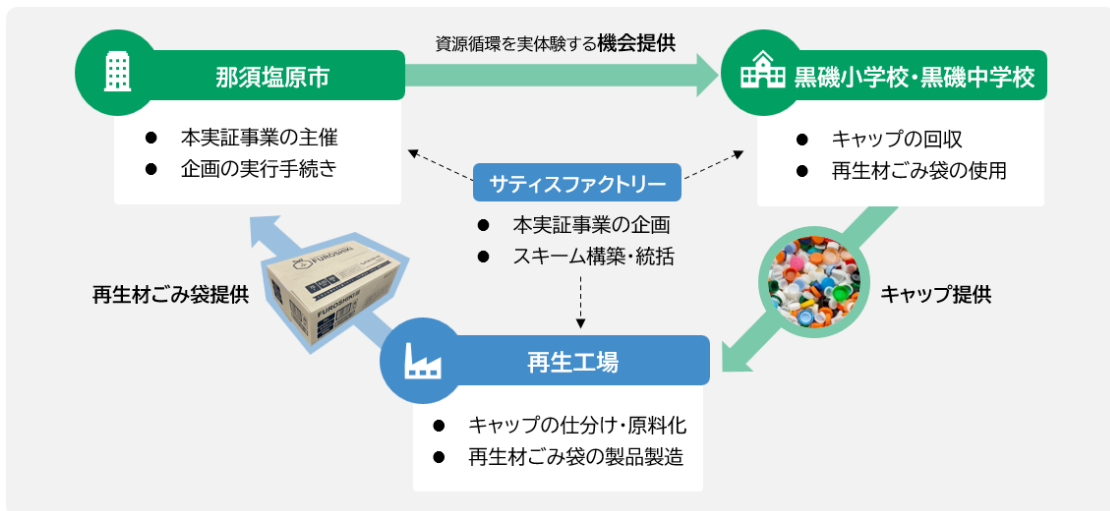
2024年3月1日  
株式会社サティスファクトリー

## 那須塩原市の小中学校で児童生徒がキャップ回収

### 3週間で2.1万個 | 地域内資源循環の可能性

【実証事業】PETボトルのキャップ入り再生材ごみ袋『FUROSHIKI』を還元

資源循環を支援する株式会社サティスファクトリー（東京都中央区）は、2024年2月にPETボトルキャップ入りの再生材ごみ袋の供給を開始しました。これに先立ち、2023年12月より那須塩原市と連携して、地域内資源循環の実現可能性をはかる実証事業を行いました。本事業では、協力者である黒磯小学校と黒磯中学校にて、児童生徒がPETボトルのキャップを家庭や地域から集めました。2024年3月1日、市はセレモニーを開き、キャップを原料の一部に再生したごみ袋を学校に贈呈します。これを児童生徒が使用することで、地域内資源循環を実体験する機会となります。



### 経緯 | リサイクル参加の実感が環境教育に

那須塩原市の黒磯中学校区では、もともとSDGsに向けた教育に重点を置き、「自ら課題解決に取り組む児童生徒」を目指していました。その方法として、「課題を知る」だけでなく「校内でも実践」や「地域でできることの計画、立案」を掲げています。

サティスファクトリーが那須塩原市に地域内資源循環を提案してまもなく、児童生徒の「実体験」となる要素に評価を得て、小中学校での実証事業が決定しました。これを皮切りに、市は地域内の資源利用の見える化を推進していく姿勢です。

## 結果 | キャップの回収量は、想定 の 3.8 倍超

本実証事業でリサイクルの対象となるのは、黒磯小学校と黒磯中学校の**児童生徒が集める PET ボトルのキャップ**です。これらがごみ袋に生まれ変わり、それを学校に還元することで、児童生徒は自身の身近な物を通じて環境負荷を減らす取組みに参加しているという実感が沸きます。

那須塩原市より学校へ協力を要請したのは 2023 年 12 月。冬休み前に、キャップの回収について児童生徒およびその家庭へ一斉周知されました。年が明け、校内に回収箱を設けると、**わずか 3 週間で 2 万 1,000 個**が集まりました。これは、想定していた 5,500 個の 3.8 倍に及びます。ここから、児童生徒の意欲や家庭の分別意識の高さがうかがえ、資源の用途が明確であることも後押しに繋がったと考えられます。

### ▼概要

回収場所	黒磯小学校	黒磯中学校
内容	児童生徒が各家庭から PET ボトルのキャップを回収	
期間	2024 年 1 月 9～30 日	
回収目標	2,300 個	3,200 個
回収結果	約 13,000 個	約 8,000 個
達成率	565%	250%
用途	90L ごみ袋 2,000 枚	45L ごみ袋 5,000 枚
使用場所	黒磯小学校・黒磯中学校	

### ▼児童生徒による回収の様子



(写真提供： 黒磯小学校、那須塩原市)

### 使途 | 再生材 99%ごみ袋 『FUROSHIKI』

サティスファクトリーは、集まったキャップを再生樹脂に再資源化し、**再生材ごみ袋の原料の一部に使用**しました。製品は市に提供し、市から学校へと贈呈され、3月の卒業時期までに児童生徒の手に届くよう配慮されています。

この再生材ごみ袋『FUROSHIKI』は、**99%が廃棄物由来の再生原料**で作られます。私たちは、資源を大切に扱うだけでなく、焼却処分の回避による CO2 排出削減で脱炭素にも貢献します。2020 年に供給開始以来、250 事業所からの原料提供と、15,000 事業所の製品購入で全国に広がるなか、2023 年にはキャップを 5%まで含有することに成功し、資源の地域循環や社内循環を分かりやすく実感いただける製品に発展しています。

(FUROSHIKI 商品サイトは [こちら](#))



99%再生材ごみ袋で、廃プラスチックを国内循環させる

# FUROSHIKI

### 展開 | ■■内資源循環の拡大へ

サティスファクトリーおよび那須塩原市は、本実証事業を通じて、地域内資源循環の実現可能性の高まりを確認しました。資源循環における要所は分別と回収であり、その意欲を増すのは成果物の必要性です。今後は、**再生品の製造も栃木県内で行えるよう**、連携して計画を進めてまいります。

また、これは企業にとっても「**社内資源循環**」の可能性を示すロールモデルになると考えます。キャップ入り FUROSHIKI の原料回収と提供を広く推進し、クローズドループの価値を実感できる機会を提供してまいります。

| 社会を 100 年先に繋ぐ、環境問題解決企業



会社名： 株式会社サティスファクトリー

所在地： 東京都中央区八丁堀三丁目 12 番 8 号 HF 八丁堀ビルディング 8F

代表者： 代表取締役 小松 武司

設立： 1996 年 11 月

事業内容： 廃棄物マネジメント事業／環境コンサルティング事業／  
再資源化プロダクト事業環境教育事業／環境教育事業

資本金： 1 億円

Web サイト： <https://www.sfinter.com/>

| お問い合わせ先

広報担当： 梅田（うめだ）

E-mail： [consulting@sfinter.com](mailto:consulting@sfinter.com)

以上